

セキュアWebアプライアンスでのキャッシュのクリア

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[DNSキャッシュのクリア](#)

[GUIからのDNSキャッシュのクリア:](#)

[CLIからのDNSキャッシュのクリア:](#)

[プロキシキャッシュのクリア](#)

[GUIからのプロキシキャッシュのクリア:](#)

[CLIからのプロキシキャッシュのクリア:](#)

[認証キャッシュのクリア](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、Secure Web Appliance(SWA)でプロキシキャッシュ、DNSキャッシュ、および認証キャッシュをクリアする手順について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 物理または仮想SWAがインストールされている。
- ライセンスの有効化またはインストール
- セキュアシェル(SSH)クライアント。
- セットアップウィザードが完了しました。

- SWAへの管理アクセス。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま

す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

DNSキャッシュのクリア

効率性とパフォーマンスを向上させるために、Cisco WSAは最近接続したドメインのDNSエントリを保存します。DNSキャッシュにより、SWAは同じドメインの過度のDNSルックアップを回避できます。DNSキャッシュエントリは、レコードのTTL（存続可能時間）またはSWAのDNS設定に従って期限切れになります。

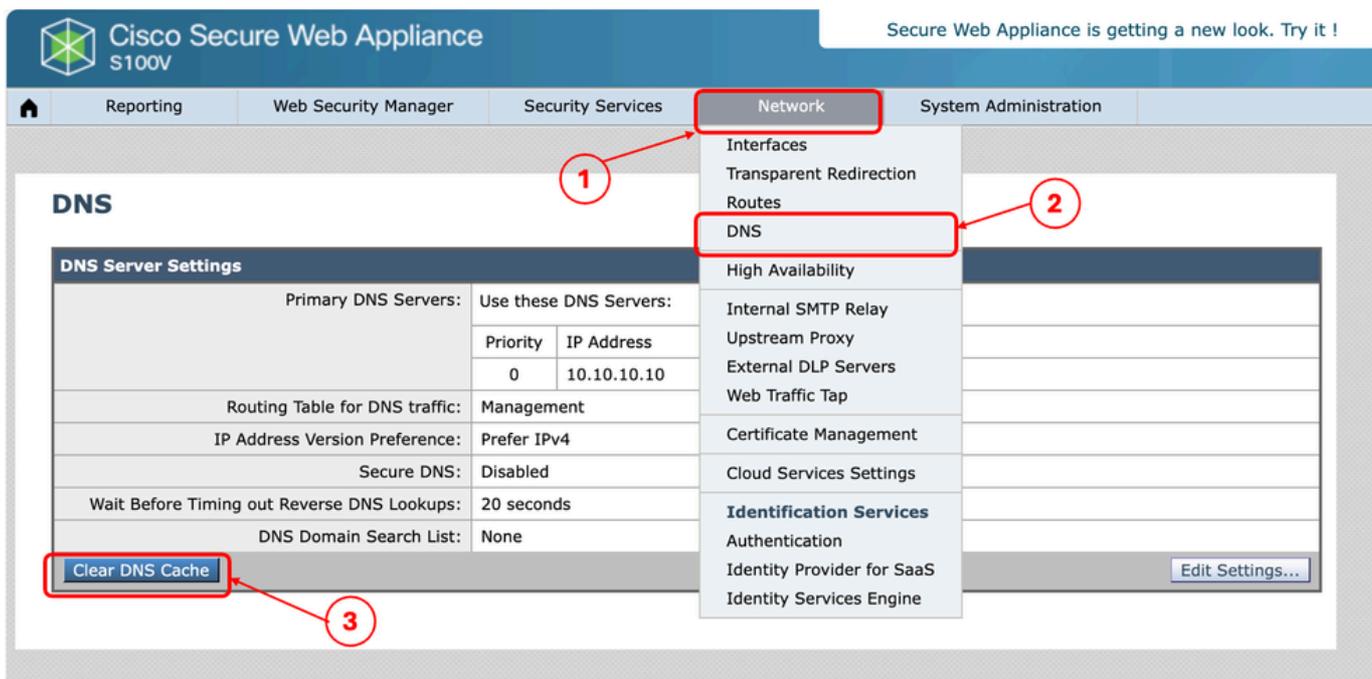
ただし場合によっては、DNS キャッシュでエントリをクリアする必要があります。破損しているかまたは期限切れの DNS キャッシュ エントリが原因で、リモート ホストへの配信で問題が発生することがあります。

GUIからのDNSキャッシュのクリア：

ステップ 1：ネットワークに移動

ステップ 2：DNSの選択

ステップ 3：Clear DNS Cacheをクリックします



イメージ：DNSキャッシュのクリア

CLIからのDNSキャッシュのクリア：

コマンドラインインターフェイス(CLI)からDNSキャッシュをクリアするには、次の手順を実行します。

ステップ 1：CLIへのログイン

ステップ 2 : dnsflushを実行します

ステップ 3 : 「Y」を選択します

```
SWA_CLI> dnsflush  
Are you sure you want to clear out the DNS cache? [N]> Y
```

プロキシキャッシュのクリア

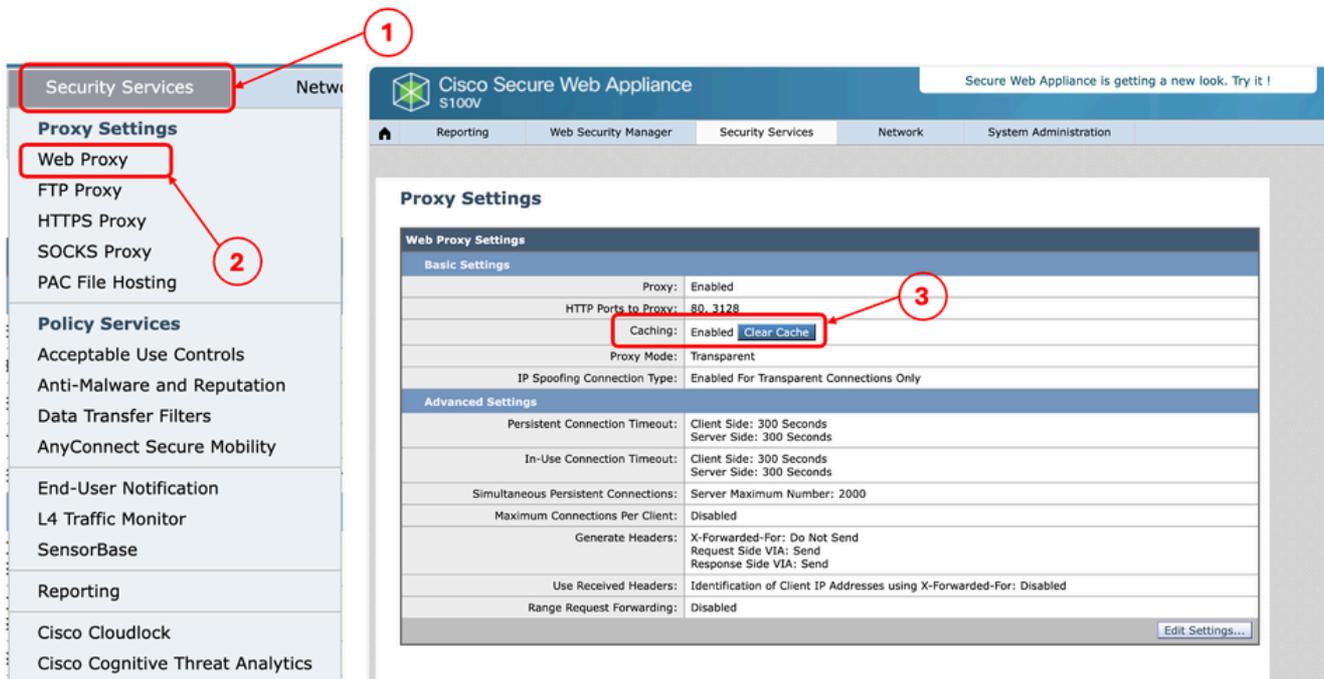
GUIからのプロキシキャッシュのクリア :

プロキシキャッシュをGUIからクリアするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 : セキュリティサービスに移動します

ステップ 2 : Webプロキシの選択

ステップ 3 : Clear Cacheをクリックします。



イメージ - プロキシキャッシュのクリア

CLIからのプロキシキャッシュのクリア :

CLIからプロキシキャッシュをクリアするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 : CLIへのログイン

ステップ 2 : 診断の実行

ステップ 3 : 「PROXY」を選択します。

ステップ 4 : 「CACHE」を選択します。

```
SWA_CLI> diagnostic
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- NET - Network Diagnostic Utility.
- PROXY - Proxy Debugging Utility.
- REPORTING - Reporting Utilities.
- SERVICES - Service Utilities.

```
[> PROXY
```

```
Choose the operation you want to perform:
```

- SNAP - Take a snapshot of the proxy
- OFFLINE - Take the proxy offline (via WCCP)
- RESUME - Resume proxy traffic (via WCCP)
- CACHE - Clear proxy cache
- MALLOCSTATS - Detailed malloc stats in the next entry of the track stat log
- PROXYSCANNERMAP - Show mapping between proxy and corresponding scanners

```
[> CACHE
```

```
Flushing Proxy cache, prox PID: 55182
```

認証キャッシュのクリア

認証キャッシュから1つまたはすべてのエントリ (ユーザ) を削除できます。



注：認証キャッシュに現在保存されているすべてのユーザを一覧表示することもできません。

認証キャッシュはCLIからクリアできます。

ステップ 1：CLIへのログイン

ステップ 2：authcacheの実行

ステップ 3：すべてのキャッシュエントリをクリアする必要があるか、単一のユーザだけをクリアする必要があるかによって、「FLUSHALL」または「FLUSHUSER」を選択します。



ヒント：キャッシュから削除するユーザ名の正しい形式を見つけるには、「SEARCHDETAIL」を選択し、最初に正しいユーザ名の形式を見つけます。

関連情報

- [AsyncOS 15.0ユーザガイドfor Cisco Secure Web Appliance - LD \(限定導入 \) – トラブルシューティング...](#)
- [セキュアWebアプライアンスDNSサービスのトラブルシューティング：シスコ](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。